

適性検査Ⅰ 出題のねらい（令和2年2月3日実施）

**問1** シルクを題材に、会話文や資料の内容について読み取ったり、横浜の伝統産業やシルクの新しい試みを資料に基づいてまとめたりすることを通して、主に表現コミュニケーション力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、シルクの説明や横浜とシルクの関わりなどを読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 会話文と資料から、横浜の伝統産業やシルクの新しい試みについてまとめ、言葉で適切に表現する。

**問2** 食育の授業を題材に、食品に関する組み合わせや、栄養成分表示などを基に食塩相当量を考えることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、食品のグループ分けや食品の旬の時期を読み取り、あてはまるものをそれぞれ選択する。
- (2) 会話文と資料から、栄養成分表示や計算式をもとに、パン1枚とヨーグルト1個を合わせた食塩相当量を求める。

**問3** 日本を訪れた外国人旅行者を題材に、旅行者の数の割合を求めたり、旅行者の数が減少していない理由を説明したりすることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、日本から近い国や地域の旅行者の数の割合を求め、あてはまるものを選択する。
- (2) 会話文と資料から、中国からの旅行者の数の増加の割合を求め、あてはまるものを選択したり、アメリカ合衆国からの旅行者の数が減少していない理由を文で具体的に説明したりする。

**問4** さいころを題材に、条件にあてはまるさいころの展開図や、さいころの目の数を考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と図から、条件にあてはまるさいころの展開図を選択する。
- (2) 会話文と資料から、さいころの目の数の和や黒いテープで覆われた部分のさいころの目を求める。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（令和2年2月3日実施）

**問1** バリアフリーを題材に、資料の内容を読み取り、自分の考えを表現することを通して、主に表現コミュニケーション力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と記事から、バリアとバリアフリーについて読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 会話文と記事から、心のバリアについて自分の経験と考えをまとめ、文章で適切に表現する。

**問2** 庭づくりを題材に、必要な板の枚数や、レンガの個数を求めることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と図から、柵の組み立て方を読み取り、縦板の枚数を求める。
- (2) 会話文と図から、レンガの敷き方を読み取り、レンガの個数を求める。

**問3** 水溶液の性質を題材に、条件にあてはまる実験方法や実験結果を考えることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、水溶液の性質と実験結果を読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 会話文と資料から、水溶液の性質と実験結果を読み取り、あてはまるものを選択する。

**問4** 立体づくりを題材に、条件にあてはまる箱の個数や、ストローの本数を求めることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、3段の立体の積み重ね方を読み取り、真上から見たときの特定の記号の箱の個数を求める。
- (2) 会話文と図から、それぞれの方法で3段の立体を作るときに必要なストローの本数を読み取り、何本減らせるかを求める。

令和2年度 神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

グループ活動による検査 出題のねらい（令和2年2月3日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いを行い、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力と中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識をみることをねらいとした。

**課題1** 県立中等教育学校での、「みんなが輝く学校にするために、6年間を通して自分たちの学年で取り組む活動」の話し合いの場面を設定している。「みんなが輝く学校」とはどんな学校かと、「みんなが輝く学校にするために、6年間を通して自分たちの学年で取り組む活動」の内容について、自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合っ1つの案をつくる。

**課題2** 県立中等教育学校での、「みんなが笑顔になる学校にするために、6年間を通して自分たちの学年で取り組む活動」の話し合いの場面を設定している。「みんなが笑顔になる学校」とはどんな学校かと、「みんなが笑顔になる学校にするために、6年間を通して自分たちの学年で取り組む活動」の内容について、自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合っ1つの案をつくる。

〈参考〉

受検者を男女別に8人程度のグループに分け、相模原中等教育学校、平塚中等教育学校ともに3回の検査を実施した。

検査	検査時間	検査課題
第1回検査	12:40～13:20	課題1
第2回検査	13:55～14:35	課題1
第3回検査	15:10～15:50	課題2